（No.　）

様式１ 別紙２

指定研修機関名：

講義、演習又は実習を行う施設及び設備の概要

記入日：平成　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| １.施設の名称 | ﾌﾘｶﾞﾅ |
|  |
| ２.施設の所在地 | 〒　　 　 　-　 　 　 　　　（　　　　　　都・道・府・県）電話：（　　）　　　―　　　　 ＦＡＸ：（　　）　　　―　　　　 |
| ３.施設の代表者の氏名 | ﾌﾘｶﾞﾅ |
|  |
| ４．特定行為研修の実施責任者の氏名等 | ﾌﾘｶﾞﾅ　　　　　　　　 |
| 氏名（姓） | （名） |
| 職種： |
| 役職： |
| ５．特定行為区分の名称 |  |
| ６．当該施設で行う特定行為研修の科目と研修方法 | 科目 | 研修方法 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| ７．当該施設で特定行為研修を受ける看護師の定員 | 　　　名 |

（No.　）

指定研修機関名：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ８．教室の区分、数、面積及び収容人数 | 室の区分 | 室数 | 総面積（ｍ２） | 収容人数（人） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

（No.　）

指定研修機関名：

|  |
| --- |
| ９．通信により行う場合の環境の整備状況 |
|  | 具体的な実施方法 |
| 印刷教材 | 利用する教材の特色 |  |
| 学修課程の管理方法 |  |
| 試験等評価の実施方法 |  |
| 放送 | 利用する技術の特色 |  |
| 学修課程の管理方法 |  |
| 試験等評価の実施方法 |  |
| メディア利用 | 利用する技術の特色 |  |
| 同時双方向性の確保 |  |
| 学修課程の管理方法 |  |
| 試験等評価の実施方法 |  |
| 面接授業 | 実施施設の名称 | 科目 | 室の区分 | 室数 | 総面積（ｍ２） | 収容人数（人） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（No.　）

指定研修機関名：

|  |  |
| --- | --- |
| １０．医学教育用シミュレーター及び医学教育用ビデオ等の教材の整備状況 | 医学教育用シミュレーター |
|  | 種類 | 台数 | 使用する科目 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 医学教育用ビデオ |
|  | 内容 | 使用する科目 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| その他（具体的に） |
|  | 内容 | 使用する科目 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（No.　）

指定研修機関名：

|  |
| --- |
| １１．実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の見込み |
|  | 特定行為研修を実施する特定行為 | 症例数の実績（概数） | 症例数の見込み |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| １２．実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制 | 実習に係る安全管理に関する組織の設置状況 | 組織の構成員の人数 |
| 医師・歯科医師（　　）名 | 薬剤師（　　）名 |
| 看護師（　　）名 | その他（　　）名 |
| 主な構成員（少なくとも指導者である医師1名を含むものとし、主な構成員を3名まで記入する。） |
| 職種 | 氏名 | 役職 | 備考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 実習に係る緊急時の対応に係る手順を記載した文書 | ＊　本用紙に添付すること（様式自由） |
| 実習に係る患者からの相談に応じる体制の確保状況 | 患者の相談に応じる方法： |
| 患者の相談に応じる責任者の氏名等 |
| 職種： |
| 氏名： |
| 役職： |
| １３．実習を行うに当たり患者に対する説明の手順を記載した文書 | ＊　本用紙に添付すること（様式自由） |
| １４．備考 |  |

備考

１　本用紙は、講義、演習又は実習を行う全ての施設について、特定行為区分ごとに記入すること。

２　本用紙右上「指定研修機関名」は、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入すること。

３　「３．施設の代表者の氏名」は、学校にあっては設置者、病院にあっては開設者、法人その他の者にあってはその代表者の氏名を記載すること。

４　「４．特定行為研修の実施責任者の氏名等」は、協力施設の場合のみ記入すること。

５　「６．当該施設で行う特定行為研修の担当科目と研修方法」の「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。「研修方法」は、講義、演習又は実習の別を記入すること。

６　「８．教室の区分、数、面積及び収容人数」の「室の区分」は、講義室、演習室又は実習室の別を記入すること。

７　「９．通信により行う場合の環境の整備状況」は、通信による方法で特定行為研修を行う場合のみ記入すること。また、「具体的な実施方法」は、以下の点について記入すること。

　（１）　「利用する教材の特色」は、教科書及び指導書等の教材の作成及び更新の方針、送付等の教材を提供する方法の概要を記入すること。

　（２）　「利用する技術の特色」は、授業を視聴させるために利用する放送通信技術の特色を記入すること。メディア利用の場合は、教材の作成及び更新の方針等の方法の概要も記入すること。

　（３）　「同時双方向性の確保」は、利用する技術によって一体的に扱うことのできる情報の種類及び同時双方向性の程度を具体的に記入すること。また、毎回の授業の実施に当たっての指導及び受講者の意見交換の機会等の方法を記入すること。

　（４）　「学修課程の管理方法」は、出席の確認や学修時間の確保の方法、受講者に勉学を促し、進度に応じて行う添削等による指導の機会や方法等の概要を記入すること。

　（５）　「試験等評価の実施方法」は、試験等科目の履修の成果を評価する方法の概要を記入すること。

　（６）　「実施施設の名称」は、面接授業を行う施設を記入すること。

　（７）　「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。

　（８）　「室の区分」は、講義室、演習室又は実習室の別を記入すること。

８　「１０．医学教育用シミュレーター及び医学教育用ビデオ等の教材の整備状況」は、医学教育用シミュレーターを有する場合は、当該シミュレーターの種類、台数及び使用する科目を記入し、医学教育用ビデオを有する場合は、当該ビデオの内容及び使用する科目について具体的に記入すること。また、「使用する科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。

９　「１１．実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の見込み」、「１２．実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制」及び「１３．実習を行うに当たり患者に対する説明の手順を記載した文書」は、実習を行う施設のみ記入すること。

１０　「１１．実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の見込み」の「症例数の実績（概数）」は、指定の申請が行われる年度の前年度における当該施設の症例数の実績を記入すること。また、症例数の見込みは前年度の症例数の実績を参考に記入すること。

１１　「１２．実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制」の「実習に係る安全管理に関する組織の設置状況」の「備考」は、実習に係る安全管理に関する組織の主な構成員が、実習を行う施設の管理者及び関係各部門の責任者である場合に、その旨を記載すること。

１２　「１４．備考」は、当該施設が臨床研修病院（基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院）である場合に、その旨を記入すること。

１３　記入欄が足りない場合は、当該用紙を複写して使用するとともに、「(No．)」に通し番号を記入すること。